



社団法人 日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-40-9
ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886
FAX: 03-5684-6936
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 229 号

平成 19 年 (2007 年) 2 月刊

1. 平成 19 年度日本病理学会病理専門医試験について

平成 19 年度の病理専門医試験は、7 月 28 日(土)、29 日(日)に東京医科歯科大学にて行われます。受験希望者は申請書類取り寄せ等につき、学会事務局にお問い合わせください。

平成 19 年度日本病理学会病理専門医試験 申請要綱

1. 病理専門医試験を受験しうる者は、日本病理学会病理専門医制度規程により下記の資格すべてをそなえた者であること。

- (イ) 日本国の医師免許を取得していること。
- (ロ) 死体解剖保存法による死体解剖資格を取得していること。
- (ハ) 出願時 3 年以上継続して日本病理学会会員であること。
- (ニ) 日本病理学会の認定する研修施設において 5 年以上の人体病理学を实践した経験をもち、その期間中に次の各項の研修を修了していること。ただし、5 年の実践期間のうち最高 1 年までを、厚生労働大臣の指定した臨床研修病院における臨床研修(臨床検査医学研修を含む)をもって充当すること、また、法医学の研修期間は、2 年(法医学専攻の大学院修了者)までを充当することができる。
- (ア) いちじるしく片寄らない症例についてみずか

らの執刀による病理解剖(剖検)を行い、病理解剖最終診断報告書を作成した剖検例を 50 例以上経験していること。

(b) いちじるしく片寄らない症例についてみずから病理組織学的診断を行った生検ならびに手術切除検体 5,000 例(50 例以上の術中迅速診断を含む)以上を経験していること。

(c) 日本病理学会(支部を含む)、国際病理アカデミー日本支部等の主催する病理組織診断に関する講習会を受講していること。

(d) 日本病理学会等の主催する細胞診に関する講習会を受講していること。

(ホ) 人体病理学に関する原著論文または学会報告が 3 編以上あること。

(ヘ) 人格・識見に関する研修指導者の推薦があること。

(ト) 人体病理業務に専任していること。

2. 病理専門医試験を受けるには、受験願書及び資格審査申請書に必要書類を添付して、日本病理学会へ申請するものとする。

3. 資格審査申請書について

1) 資格審査申請書は、日本病理学会が病理専門医の資格があるかどうかを審査するに必要な書類である。したがって、その記載内容が適正であり、かつ、誤りや不明な点がないよう留意すること。

2) 資格審査申請書には、必ず同封の所定の用紙を使用し、2 部(1 部は写しで可)を提出すること。

会費口座自動振替のお知らせ

平成 19 年度年会費・病理専門医部会費のお引き落とし予定日は平成 19 年 3 月 23 日です。お届け口座のご確認をよろしく願いいたします。

学術集会会場での現金による会費納入のお取り扱いはありません。郵便振替もしくは口座自動振替(平成 19 年度分につきましては受付終了)をご利用下さい。

社団法人 日本病理学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886 FAX: 03-5684-6936
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

4. 病理専門医試験に必要な書類は、次の通りである。
 - 1) 試験願書(写真4×3 cm 2葉, 受験票を含む)
 - 2) 受験資格審査申請書
 - 3) 医師免許証の写し 1部
 - 4) 死体解剖資格認定証明書の写し 1部
 - 5) 研修施設が日本病理学会認定の研修施設, 臨床研修病院, 日本臨床検査医学会認定研修施設であることの証明書の写し(大学の場合は不要)
 - 6) 人体病理学についての業績(原著あるいは学会演題抄録)3編の別刷ないし写し 1部
 - 7) 50例の剖検症例のプロトコールあるいは報告書のコピー(申請者の署名必須)を付した病理解剖リスト 1部
 - 8) 迅速診断についての経験症例50例のリストならびに報告書の写し(署名入り) 1部
 - 9) 病理組織診断, 細胞診に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し
 - 10) 推薦書 1部
5. 申請期間: 平成19年4月1日より平成19年4月30日まで
 試験実施日: 平成19年7月28日(土), 29日(日)
 試験会場: 東京医科歯科大学
6. 受験手数料として, 金30,000円を申請時前納すること。
7. 試験合格者は, 認定証交付時に資格認定料金20,000円を納入すること。
8. 試験合格者は, 自動的に病理専門医部会員になり, 部会費年額金6,000円を納入すること。
9. 申請宛先
 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9
 ニュー赤門ビル4F 日本病理学会事務局
 TEL: 03-5684-6886 FAX: 03-5684-6936
 E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

注意事項

- 1) 申請書へ必要事項を記載するにあたっては, 別紙「記載例」(ここでは省略)および別記「病理専門医試験申請の書類作成に関する注意事項」を参照すること。
- 2) 記載項目の中で, 記載しきれない事項は備考欄を使用すること。
- 3) 上記1.(イ)の臨床検査医学研修は日本臨床検査医学会の認定する研修施設における必須学科の研修に限る。
- 4) 上記1.(イ)(d)の日本病理学会等の主催する細胞診に関する講習とは, 医師を対象とし全域を網羅したものであることが要件であり, 現時点では日本病理学会主催による「細胞診講習会」および, 日本臨床

細胞学会による「細胞診断学セミナー」のみが該当するが, 疑問の点は病理学会事務局に問い合わせること。

(別記) 病理専門医試験申請の書類作成に関する注意事項

病理専門医試験受験資格申請について, 書類の記載不備の場合には申請者に修正後提出するよう返却あるいは受験申請が受理されないことがあります。申請に当たっては以下の点に留意してください。

1. 死体解剖資格: 受験申請時に, 死体解剖資格を得ていないと受験は認められません。受験の前年度末までに必ず死体解剖資格を得るようにして下さい。死体解剖資格申請を厚生労働省に申請中で, 受験資格申請までに間に合わなかった人が申請してくることがありますが, この場合も受験資格は認められません。
2. 業績: 受験資格申請に必要な業績は人体に関する論文, 学会発表が3編以上です。学会発表には日本病理学会総会ならびに病理学会支部会が含まれますが, この場合は必ず抄録の写しあるいは発表内容の要約を添えて提出して下さい。また学会総会あるいは支部会発表の抄録のみで3編は望ましくなく, しかるべき雑誌あるいは“診断病理”等に投稿発表されたものであることが望ましい。

病理学会以外の学会あるいは地方会での発表抄録の場合は申請者本人が筆頭であることを原則とします。

原著論文は人体病理に関するものの他, 人体材料を用いた実験的研究も可です。

また, 3編には内容に重複がないものが望ましい。

3. 剖検記録: 剖検は申請者本人が自ら行った50例で, 申請者本人ならびに指導医の自筆署名がなされた正式報告書原本(施設名が印刷されていること)のコピーとします。患者名はマジックなどで消して下さい。なお, コンピュータで作成された正式報告書では電子署名の他に, 申請者の自筆署名をして下さい。申請の為にワープロなどで新たに作成された剖検報告書は正式書類としては認められません。

日本病理学会病理専門医制度運営委員会
 病理専門医資格審査委員会

2. 平成19年度日本病理学会口腔病理専門医試験について

平成19年度の口腔病理専門医試験は, 7月28日(土), 29日(日)に東京医科歯科大学にて行われます。受験希望者は申請書類取り寄せ等につき, 学会事務局にお問い合わせ

ください。

平成 19 年度日本病理学会口腔病理専門医試験 申請要綱

1. 口腔病理専門試験を受験しうる者は、日本病理学会口腔病理専門医制度規程により下記の資格のすべてをそなえた者であること。
 - (イ) 日本国の歯科医師免許を取得していること。
 - (ロ) 死体解剖保存法による死体解剖資格を取得していること。
 - (ハ) 出願時満 3 年以上継続して日本病理学会会員であること。
 - (ニ) 日本病理学会の認定する研修施設において満 5 年以上の人体病理学を实践した経験をもち、その期間中に次の各項の研修を修了していること。
 - (a) いちじるしく片寄らない症例についてみずからの執刀による病理解剖を行い、病理解剖学的診断を附したものの 10 例以上を経験していること。
 - (b) 口腔領域のいちじるしく片寄らない症例についてみずから病理組織学的診断を附した生検 1,000 例 (若干の迅速診断を含む) 以上を経験していること。
 - (c) 細胞診の基礎的能力を修得していること。
 - (d) 人体病理学に関する学会報告または原著論文が 3 編以上あること。
 - (e) 人格・識見に関する研修指導者の推薦があること。
2. 口腔病理専門医試験を受けるには、受験願書及び資格審査申請書に必要書類を添付して、日本病理学会へ申請するものとする。
3. 申請期間：平成 19 年 4 月 1 日より平成 19 年 4 月 30 日まで
試験実施日：平成 19 年 7 月 28 日 (土)、29 日 (日)
試験会場：東京医科歯科大学
4. 受験手数料として、金 30,000 円を申請時前納すること。
5. 試験合格者は、認定証交付時に資格認定料金 20,000 円を納入すること。
6. 申請宛先
〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9
ニュー赤門ビル 4F 日本病理学会事務局
TEL：03-5684-6886 FAX：03-5684-6936
E-mail：jsp-admin@umin.ac.jp

3. 社団法人日本病理学会総会・学術評議員会・病理専門医部会の開催について

第 96 回総会 (3 月 13 日～15 日 大阪) の会期中、大阪国際会議場メインホールにて標記会議を開催いたします。議題につきましてはそれぞれ以下の通りを予定しておりますので、ご参集ください。

学術評議員会

平成 19 年 3 月 13 日 (火) 18:20～19:00

1. 病理学会カンファレンス 病理技術講習会について
2. 病理学会人材育成について(企画委員会) “若手病理医育成のための小委員会” 報告 病理学会サマーフェスト 趣旨とご案内
3. モデル事業の現状について
4. 日本病理学会 100 周年記念事業について
5. その他

病理専門医部会

平成 19 年 3 月 13 日 (火) 19:00～19:40

1. 病院の機能表示 広告規制緩和について
2. 診療報酬改定に向けて
3. 全国剖検率の動向と各種研修指定病院の資格について
4. College of American Pathologists (CAP) Proficiency Testing (PT) 病理精度管理について
5. その他

社団法人日本病理学会総会

平成 19 年 3 月 14 日 (水) 14:00～15:00

1. 新名誉会員推薦の件
2. 新学術評議員の承認の件
3. 役員選挙規定に関する件 (定款施行細則の改定)*
4. その他

* 3. の議案につきましては、下記の通り提案いたします。

役員 (理事 監事) 規定の変更条項新旧対照(案)

定款施行細則 (第 3 章 役員 の 選 任 第 10 条)

旧 役員 (理事 監事) は、就任時年度内の年齢が満 63 歳以下の者とする。

新 役員 (理事 監事) は、就任時の年齢が満 63 歳以下の者とする。

この改定は、規定の表現、内容を明確にしたものですが、改定に伴い、役員 の 定 年 が 現 行 より 実 質 1 年 延 長 さ れ る こと にな り ます。また、本改定の施行は本総会日以降となります。

4. 学術研究賞演説 (A 演説), B 演説の選考について

第53回(平成19年度)秋期特別総会学術研究賞演説(A演説), B演説については, それぞれ16題, 4題の応募があった。2月13日の学術委員会で審議し, 投票の結果, 8題, 2題を選考した。本件は, 同日の理事会において, 同委員会案のとおり決定した。

学術研究賞 (A 演説) (応募順)

1. 自己免疫疾患におけるNF- κ Bシグナルを介したT細胞の制御機構: 石丸 直澄 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔分子病態分野)
 2. 破骨細胞分化を制御する分子機構の解析: 北澤 理子 (神戸大学大学院医学系研究科生体情報医学講座分子病理学分野)
 3. エイズ関連悪性腫瘍の感染病理に関する研究: 片野 晴隆 (国立感染症研究所感染病理部)
 4. 細胞間接着と極性形成の制御機構: 千葉 英樹 (札幌医科大学医学部病理学第二講座)
 5. 肝内胆管癌の発生と進展機序の解明~腫瘍制御を目指して: 相島 慎一 (国家公務員共済組合連合会浜の町病院病理)
 6. 乳癌の形態異常と悪性度診断: WAVE2-Arp2/3シグナルの亢進: 岩屋 啓一 (東京医科大学病理診断学講座)
 7. がん間質形成過程に関わる線維芽細胞の生物学的ダイナミクス: 石井源一郎 (国立がんセンター東病院臨床開発センター臨床腫瘍病理部)
 8. 癌に対する免疫応答と免疫逃避機序の病理学的解析: 鳥越 俊彦 (札幌医科大学医学部病理学第一講座)
- B 演説 (応募順)

1. 壁細胞肥大と内分泌細胞の瀰漫性過形成を伴った胃の多発性カルチノイドの1例。新病型の提案: 大井

章史 (金沢大学大学院医学研究科分子細胞病理学) 小林 雅子, 勝田 省吾, 中西 功夫

2. 斜台部良性脊索細胞腫の考察: ecchordosis physaliphora sphenoccipitalisとの関係について: 山口 岳彦 (札幌医科大学病理診断学)

5. 学術奨励賞の選考について

2月13日の学術奨励賞選考委員会で, 第8回(平成18年度)学術奨励賞受賞候補者を選考した。6名の応募があり, 審議の結果, 6名を選考した。本件は, 同日の理事会において, 同委員会案のとおり決定した。(ABC順)

「口腔癌の増殖, 浸潤, 転移に関する分子病理学的検討」
工藤 保誠 広島大学大学院医歯薬学総合研究科口腔顎顔面病理病態学研究室

「粘表皮癌におけるMECT1-MAML2キメラ遺伝子の臨床病理学的意義の解明」

岡部 光邦 名古屋市立大学大学院臨床病態病理学

「滑膜肉腫における上皮分化機構に関する研究」

齋藤 剛 東京医科大学病理診断学講座

「癌抑制遺伝子Fhitの機能解析, 及び染色体脆弱部位と発癌との関連についての検討」

仙波 秀峰 神戸大学大学院医学系研究科外科病理学分野

「心血管イベントの発生機序の解明」

山下 篤 宮崎大学医学部病理学第1講座

6. 会員の訃報

以下の方がご逝去された。

斉藤 澄 学術評議員 (平成19年1月19日ご逝去)